



## 「人生は自分でつくるもの」

校長 藤田 賢一郎

10月の全校朝会で、次のように語りかけました。

あるアメリカ人の話です。その人は、10歳から、農場で働き始めました。早くに親を亡くし、学校に通う金銭的余裕がなかったからです。農場の後は、電車の車掌や修理工など、40種類以上の仕事に、がむしゃらに取り組んだそうです。

10歳で働き始めてから二十数年間、彼は身を粉にして働き続けました。そして30代後半で、それまでコツコツとためた貯金を全部使って、小さなガソリンスタンドを開きました。近隣の農家が客でした。しかし、その年は極端に雨の少ない干ばつが続いて農作物が枯れ、農家は困窮し、たくさんの店がつぶれました。彼のガソリンスタンドも、倒産してしまいました。10歳のときから30年近く働いてようやく開いた店でした。

彼は、また一から働いて、40代で2度目のガソリンスタンドを開きました。そして、ガソリンスタンドの隅にテーブル1つ、椅子6つの小さなフードコーナーを作って、自分で作った料理を出しました。それがとてもおいしいと評判になり、ガソリンを入れるならあのスタンド、ついでにおいしいものを食べようと、たくさんの客が行列を作って並ぶようになりました。ところが、49歳の時、彼のガソリンスタンドは、火事で焼けてしまったのです。それから2年間、彼はまた休みもなく働き、51歳で147席もある大きなレストランを開きました。順調に売り上げを伸ばし、多くの従業員を雇って、その地域では最高の給料を払いました。しかし、近くに高速道路が通ったため、彼のレストランの前の道は車が通らなくなってしまうました。また、倒産。彼が65歳の時です。

「一生懸命やったけれど、うまくいかなかった」、これを挫折と言います。彼は、10歳の頃から誰よりも一生懸命働いていたのですが、何度も挫折を体験します。65歳の彼に残ったものは、調理器具と古い自動車1台だけでした。65歳と言えば、日本では仕事をやめて、年金等で生活する人が多い年齢です。彼はそんな年齢で、また大きな挫折を体験したのです。

さて、皆さん、その後彼はどうしたと思います？彼は残ったわずかな調理器具と古い車を使って、評判の良かった鶏肉の調理方法を教えて回る商売を始め

ました。教えた調理方法で鶏肉が一羽分売れると5セント受け取る約束で、彼はアメリカ中を回りました。この「やり方を教えて、その方法で売れたらお金をもらう方法」は、今ではたくさんのレストランやコンビニ等が採用しています。フランチャイズ制度と言います。65歳でまたもや挫折から這い上がった彼、その彼が世界で初めてフランチャイズ制度を始めたのです。

彼の名前は、カーネル・サンダースさん。そう、KFC(ケンタッキー・フライド・チキン)のお店の前に立っている白いひげのおじいさんです。世界80か国以上に1万店もお店があります。日本にも千店以上あるそうです。

サンダースさんは、90歳で亡くなる数か月前まで、世界中を回って調理方法を教えていました。日本にも3回来ています。サンダースさんは、すてきな言葉も残しています。「人生は自分でつくるもの」という言葉です。サンダースさんは「挫折も自分を成長させてくれた」とも話しています。あきらめずに立ち上がった人ならではの言葉ですね。

みなさんも、頑張って勉強したけれど、思うような成績をとれなかった、歯を食いしばって練習したけれど、選手に選ばれなかった・・など、そんな挫折の体験があるのではないのでしょうか。サンダースさんなら、きっとみなさんに、「その経験は、皆さんを成長させてくれるはずですね」と言うことでしょう。

頼もしいことに、皆さんの周りには、一緒に挫折や困難を乗り越えていく友人や、見守ってくれる家族や地域の方、そして、板中教職員がいます。

秋も深まってきました。皆さんの、挫折や困難を乗り越えて成長していく姿、人生を自分でつくっていく姿を期待し、応援したいと思っています。

学校は、集団生活を学ぶ中で、時として挫折や失敗、対立などを体験し、仲間と支えあってそれらを乗り越えながら成長する場です。板中職員は、生徒の心に寄り添い、ともに笑い、涙しながら成長の支援に務めます。保護者、地域の皆様におかれましても、生徒の過ちに対して厳しく指導いただくとともに、失敗を許容する温かさ、おおらかさをもって見守っていただきますようお願いいたします。

# 1, 2年生 新体制で頑張っています！

9月30日に、新人各種大会が行われました。参加した卓球部・バレーボール部・野球部ともに、今持っている力を発揮して、健闘しました。大会の様子や、今後の課題について、新部長に綴ってもらいました。

## ◇卓球部 会場：柿崎総合体育館

**個人戦・3回戦、4回戦進出** 団体戦で惜敗しましたが、個人戦では、各々が回を重ね進出しました。

部長 S. A

新人大会では、男女各団体と男女各シングルスに出場しました。大会が終わり、それぞれいろいろな思いが残りました。特に「悔しい」が印象に残りました。地区新人大会で悔いのない結果にするために、日々の練習に集中して取り組んでいきたいです。

## ◇バレーボール部 会場：リージョンプラザ上越



**Aブロック3位** サーブポイント、ブロックポイント・・・コート内、ベンチ、応援席一体となってバレーをしました。

部長 F. K

新チーム初めての公式戦である新人大会を終えて感じたことは、どれだけ自分たちチームの雰囲気や流れを作れるかが大切だということです。普段の練習から、自分たちの力で、みんなで頑張ろうという雰囲気でチームを盛り上げていき、一球一球に集中して活動に取り組んでいきたいです。これからの私たちバレー部の活躍を期待しててください。

## ◇野球部 会場：高田城址公園野球場



**Aブロック3位** 快晴の中、各チームと打ち合いの激闘になりました。

部長 U. Y

私が新部長として新人戦までの活動で感じたことは、他の部員への指示の大切さです。2年生が私しかいないので、伝えたいことが上手く伝わらないことが多くありました。とても大変ですが、分かりやすい言葉や身振り手振りなども加えて指示が通るように頑張りたいです。

新人大会が中止となった陸上競技部は、10月9日実施の秋季記録会等の大会に向けて頑張りました。また、バドミントン部は練習会等の試合に向けて、吹奏楽部は12月実施のアンサンブルコンテスト等に向けて、それぞれ練習を積み重ねています。生活文化部は、各種コンクールへの出品作品等の作成に励んでいます。

# 部活動の再編についていただいたご意見を紹介します

## 第2回学校運営協議会(9/24 開催)における協議事項から

### (1) 説明の概要 (教頭)

学校だより 8月号、9月号でお知らせした通り、生徒数の減少、それに伴う職員数の減少によって、現在の7つの部の活動をそのまま継続していくことは極めて困難な状況です。そこで、部活動再編に向けて、全ての部について、「活動が存続した場合の利点や、少人数になったときの活動の見通し」と、反対に「部としての活動がなくなった場合、その種目や活動にどのように取り組めるか」について各顧問と相談し、整理しています。

### (2) いただいた主なご意見等

#### ○有恒高校の取組

→職員数を考えて団体競技の部活動はなくし個人で出場する部活動だけを残した。

#### ○小学校の課外活動

→今まで行われてきた、ミニバスや金管等の課外活動は、ここ数年ですべてなくなるかもしれない。経験がないため、入学生の部活動選択の幅は狭くなる可能性がある。部活動については、小学校等との連携で考えていくべきかもしれない。

○学校だけでこの問題に取り組むには限界がある。保護者や地域で相談し、議論していくべきである。また、これは板倉中だけの問題ではないため、上越市としてどのように取り組んでいけばよいのかに軸を、変えていくべきではないか。

#### ○他校はどのように取り組んでいるのか？

→(学校の回答)「部活動の数は減らすべき」には賛成だが、「どの部をなくすか」という問題になると、まとまらなくなることが多い。現在、三和区や中郷区では、市からの補助金を得て地域で総合スポーツクラブを設立・運営し、生徒はそこに加入して、指導者が学校に来て教えるなどの取組を行っている。ただ、指導者の確保や指導者の報酬という課題は残っており、どの地区でもこの取組がうまくいくとは限らない。

○「学校で部活動をする」という時代ではなくなってきたのではないか。スポーツ等も、学習塾に行かせる感覚で地域のサークル等に入るという方向になってきているように思う。

#### ○(学校から)

→国は、部活動の意義を学習指導要領解説において以下のように示している。「教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制を整えられるようにするものとする」。また、「令和5年度には、教員が土日に部活動をしなくてよい体制にする」という目標を掲げ、地域での「指導員」制度等の取組を進めている。

○今後、保護者や生徒、小学生等の意識調査をしたり、臨時のPTA等を開いて理解を得たりする取組を考えるとどうか。部活動数の削減は避けられないことなので、どのように理解を得て進めていくかを今後も議論していきたい。

○まずは、保護者を対象にアンケート調査を行うべきである。

このように、大きな関心をもって議論いただきました。将来の板倉中生徒にとって、そして地域にとってふさわしい教育活動が行われるように配慮し、進めます。学校運営協議会委員の皆様からご指導いただいた通り、まずは保護者を対象にアンケート調査を行うことを予定しています。今後ご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

## 「板倉区のゆるキャラデザイン」の審査に、3年生11名が参加しました！

板倉まちづくり振興会主催の「ゆるキャラデザイン」の審査に、3年生の有志11名が参加しました。それぞれが爰しの里に出向いて、いいなと思う作品を撮影し、学校に持ち寄って審査をしました。



学校での審査の様子

さすが、体育祭のパネル制作に携わったり、生活文化部で日々イラスト等を描いたりしていた11名の生徒たち。審査中は、「このデザインは、着ぐるみに向いているよね」「このデザインはポスター向きだな」と、活用場面を考えながら、審査していました。

小学生の作品のレベルの高さに驚きながら、楽しんで審査に臨み、10作品をまちづくり振興会に推薦しました。

さあ、どの作品が「板倉区のゆるキャラ」となるのか？ 楽しみにしています。



「爰しの里」での審査の様子

## やりました板倉中学校PTA！！

### 令和3年度

## 優良PTA 文部科学大臣表彰 受賞

令和3年度優良PTA 文部科学大臣表彰の、被表彰団体に選出されました。新潟県内で小中合わせて4校が選出されました。令和2年度に取り組んできたPTA活動はじめ、これまで取り組んできたPTA活動について評価いただきました。コロナに屈することなく頑張る生徒を育んだ、PTAの取組として受賞されます。11月19日には表彰式も予定されております。詳しくは、次号以降の学校だよりでご紹介いたします。

## 11月の予定

11月2日(火)から11月末まで、放課後活動がある日の下校時刻は17:30となります。また、11月から3月までは、毎週月・木曜日が部活動を実施しない日となります。

- |       |  |       |               |
|-------|--|-------|---------------|
| 2(火)  | 3年生「命・きずなを考える講座」   | 12(金) | 質問教室          |
| 4(木)  | 3年生上進連テスト③   | 16(火) | 第3回定期テスト1日目   |
| 5(金)  | 県駅伝大会  | 17(水) | 第3回定期テスト2日目   |
| 8(月)  | 学力UPWeek(～12日)<br>アウトメディアチャレンジウイーク(～14日)<br>音美保体技家前期成績配付 | 18(木) | 歯科検診②         |
| 9(火)  | 板倉区小中あいさつ運動(～11日)  | 22(月) | 部落問題学習会       |
| 11(木) | テスト前部活動停止(～17日)<br>学びの日                                  | 25(木) | いじめ見逃し0スクール集会 |

11月は、板倉区の小中学校が連携して、「人権について考える活動」を行います。初めて小中連携して実施する「あいさつ運動」や、中学生と小学校6年生が集まって実施する「部落問題学習会」「いじめ見逃し0スクール集会」を通して、「一人一人の存在の尊さ」を考え、「差別や偏見をもたず、いじめを許さない」思いを互いに確かめ合う機会としていきます。活動の様子や感想について、ぜひご家庭でも話題になさってください。

## ◇バドミントン部

部長 S.M

バドミントン部は新体制となり、部活動全体の雰囲気向上に取り組んでいます。今のバドミントン部では例年と同じで声が出ていないと言う課題があります。今年こそは、その課題を解消していけるように、まずは自分から声を出して、部員達の手本となれるように頑張ります。

## ◇吹奏楽部

部長 N.C

私たち吹奏楽部の今の目標は、アンサンブルコンテストで納得のいく演奏をすることです。そのために、一人一人が日々、目標に向かうことが大切だと思っています。コロナ対策をしつつ、新体制で部を創り上げていきたいと思っています。

## ◇陸上競技部

部長 S.R

私たち陸上部は新体制となりました。部活動での目標は、「声を出す」、「行動を早くする」としました。2年生を中心に、1, 2年生の部員全員で更に成長できるように頑張っていきます。

## ◇生活文化部

N.S ・ M.A

生活文化部は、部員全員の仲が良く、準備や片付けだけでなく、活動中も案を出し合うなど、協力し合って活動しています。現在は、1年生11名で活動していますが、コンクール出品作品だけでなく、校内に掲示する作品も、真剣に作成しています。また、どの部にも頑張ってもらいたいという思いを込めて、各部の応援ポスターを描きました。これからも、部員全員で協力しながら、楽しく活動していきます。

# 特設駅伝部 健闘しました！

## ◇特設駅伝部

部長 O.K

上越地区大会当日、レース開始までテントの中で落ち着いて準備に取り組みました。女子のレースが始まると、男子部員が全力で、男子のレースでは女子部員が全力で応援しました。保護者の方もTシャツをそろえて応援くださっていたのですぐに分かり、走っていて力になりました。その結果、女子チームが県駅伝大会に出場を決めました。残念ながら県に行けなかった男子の思いも繋いで、県大会でがんばってほしいです。

13日(水)に上越地区駅伝大会が行われ、見事、女子チームが県大会への出場を決めました。男子チームも健闘しましたが県大会出場の9位に届かず、悔しい結果となりました。県駅伝大会では女子チームが、男子の思いも受け継ぎ、地区代表として全力を尽くしてくれると思います。

大会前の練習では、たくさんの保護者の皆様から送迎や練習のお手伝いをいただき、活動を盛り上げていただきました。大変ありがとうございました。県駅伝大会でもご声援をお願いいたします。

<女子:3S-3F-1S-1K-2K> 6位/30チーム中

<男子:3M-2S-2Y-3Y-1Y-3O> 13位/43チーム中(第6区3位 3太田)

どの部も、活気にあふれた練習の様子が見られています。これからの活躍に、ご期待ください。

# 1 学期 学校評価の結果から

7月に、全校生徒、保護者の皆様から1学期の教育活動について評価いただきました。その結果の分析と今後の取組についてお知らせします。

## 1 コロナウイルスに屈することなく頑張る生徒の様子が、ありありとかがえます。

「1 今の学校生活は充実していますか」

生徒の回答（肯定的評価） (R元年：94.7% →R2年：97.5% →R3年：98.4%)

「2 学校行事に積極的に取り組んでいますか」

生徒の回答（肯定的評価） (R元年：95.7% →R2年：96, 5% →R3年：97.4%)

コロナ禍で、感染拡大防止のため前年以上に制約がかかり、中止や縮小となった行事もありました。そこで、そんな中でも工夫して頑張る生徒たちを、保護者と学校が文書やPTAメールを通して理解し合ったり、PTA活動を通して数少ない参観の機会に大勢お越しいただき直接見ていただいたりしながら、心をそろえて子どもの支援に取り組みました。結果から、生徒も、自分たちの取組を肯定的に評価している様子がうかがえます。新たな生活様式を求められている「今」を、生徒たちが前向きに取り組む姿勢を見せています。今後も保護者や地域の皆様と緊密な連携を取り、生徒に向けて「コロナに屈することなく、力強く歩むあなたたちは素晴らしい。」と引き続き支援・応援を続けたいと考えますので、これからもお力添えをお願いいたします。

## 2 周りのこと考えて行動する生徒が増加しています

「5 規則を守り、周りの人のことを考えて行動していますか」

生徒の回答（肯定的評価） (R元年：97.1% →R2年：97.5% →R3年：99.0%)

今年度はほぼ全員が肯定的にとらえる結果となっています。

感染防止のため学校では、全職員でうがい・手洗い・マスク着用・アルコール消毒、そして検温を必ず行うよう指導しております。そして生徒たちは、互いに声を掛け合って、しっかりと取り組んでいます。自分を守り友達や家族を守るために、しっかりルールを守って毎日生活しなければならないという意識の高まりが伺えます。

## 3 なかなか目指す家庭学習時間を達することができません。

「16 学年で目標とする時間や量の家庭学習をしていますか。(1年生70分、2年生80分、3年生90分)」

生徒の回答（肯定的評価） (R元年：54.1% →R2年：68.8% →R3年：63.5%)

残念ながら3人に1人の割合を越える生徒が達成できていません。細かくみていくと、学年によって取組に差が生じています。(1年生：81.0%、2年生：38.7%、3年生：70.8%)。昨年度も、1年生(現2年生)が最も到達率が高く、2年生(現3年生)が最も低いという傾向でした。各学年生徒の情熱の焦点の違いが、表れているのでしょうか。メディア接続時間のコントロールはじめ、生活習慣を見直す場を設立しながら、「自分の生活を自分で考えてより良いものにしていく」姿勢を身に付けさせていくことが課題です。11月に2回目のメディアコントロールウィークが設定されています。ご家庭で話し合い、取り組むことを糸口の一つに、解決の手立てを探ります。

## 4 昨年度からの課題「将来の目標をしっかりとつ」が、改善できませんでした。

「17 将来の目標をもっていますか」

生徒の回答（肯定的評価） (R2年：71.3% →R3年：70.3%)

保護者の回答（肯定的評価） (R2年：51.4% →R3年：56.6%)

生徒の肯定的評価、保護者の肯定的評価ともに、他の項目に比べ低いままであることが分かります。

キャリアスタートウィークとして取り組まれてきた職場体験学習5日間は、コロナ禍のため実施困難となりました。そんな中、板倉中学校では保護者の方を講師として職業講話をいただく「人生の先輩に学ぶ会」の開催はじめ、保護者の皆様から教わる取組を充実させ、生徒が自分の将来に関心が高める学習に取り組んできました。また、マナー講習会などを通して社会生活に必要な所作を学びながら 自分の将来の姿を思い描く機会を設定しました。生徒が自分の将来を思い描けると家庭学習に取り組む意識も高まるというご指摘もいただいております。今後更なる工夫改善を重ね、課題の解決に取り組めます。

令和3年度1学期 保護者の皆様による回答 (同じ趣旨で生徒に質問した回答結果も、掲載しました)

		【全校保護者 割合】				4 + 3								
	No	4	3	2	1	割合	質問							
保護者	1	34.8	61.1	3.5	0.5	96.0	お子様は、充実した学校生活を送っていると思いますか。							
生徒		68.8	29.7	0.0	1.6	98.4	今の学校生活は、充実していますか。							
保護者	2	23.2	75.8	1.0	0.0	99.0	本校の教育目標は、保護者の方々の願いや希望に合っていると思いますか。							
保護者	3	25.8	70.2	3.5	0.0	96.0	本校の教育方針・教育活動については、満足していますか。							
保護者	4	33.8	63.1	2.5	0.0	97.0	本校は、よりよい学校づくりに、熱意をもって努力していると思いますか。							
保護者	5	36.9	57.6	4.5	0.5	94.4	本校の教職員は生徒に温かく、時には厳しく、適切に接していると思いますか。							
保護者	6	14.1	73.2	10.6	1.0	87.4	お子様は、ルールやマナーを守る意識が身に付いていると思いますか。							
生徒		69.3	29.7	1.0	0.0	99.0	規則を守り、周りの人のことを考えて行動していますか。							
保護者	7	34.8	60.1	4.0	0.0	94.9	本校の教職員は、保護者の方々の意見や相談に対して誠意をもって応えていると思いますか。							
保護者	8	18.2	62.6	17.2	1.0	80.8	授業や学校行事での様子について、十分な情報が得られていますか。							
保護者	9	10.6	46.0	37.9	5.6	56.6	お子様は将来の目標をもっていると思いますか。							
生徒		43.8	26.6	21.9	7.8	70.3	将来の目標をもっていますか。							
保護者	10	0.0	31.8	51.5	16.7	31.8	お子様と進路について話していますか。							
生徒		38.5	30.2	24.5	6.8	68.8	保護者と、自分の進路について話していますか。							
保護者	11	27.3	30.3	35.9	6.6	57.6	お子様は、家で毎日勉強をしていますか。							
保護者	12	8.6	32.8	37.4	21.2	41.4	お子様は、各学年で目標としている時間や量の家庭学習をすることができますか。(中1は70分、中2は80分、中3は90分)							
生徒		25.5	38.0	29.2	7.3	63.5	学年で目標とする時間や量の家庭学習をしていますか。(1年70分 2年80分 3年90分)							
保護者	13	14.6	58.1	23.7	2.5	72.7	ご家庭で、家庭学習習慣の定着に向けて声かけや相談などをされていますか。							
保護者	14	23.2	70.2	6.6	0.0	93.4	お子様は、相手を思いやり、仲間の良さを認めたりする姿勢が身についていると思いますか。							
生徒		59.4	38.5	1.6	0.0	97.9	相手の立場に立って考え、思いやりの気持ちをもって行動できていますか。							
保護者	15	39.9	51.0	8.1	0.0	90.9	お子様は、委員会活動や係の活動などに前向きに取り組んでいると思いますか。							
生徒		68.2	29.2	1.0	0.0	97.4	委員会活動や学級の係、清掃等、自分の仕事や役割に自ら進んで、工夫して取り組んでいますか。							
保護者	16	25.3	60.6	13.1	1.0	85.9	お子様は、自らの目標達成や成長だけでなく、学級や部活動などの所属する集団の向上に貢献しようとしていると思いますか。							
生徒		65.1	30.2	4.2	0.5	95.3	委員会活動や学級の係、清掃等、自分の仕事や役割を果たし、集団に貢献する喜びを感じることができていますか。							
保護者	17	7.6	40.9	38.9	12.1	48.5	お子様は、地域の行事や活動に参加していますか。							
生徒		38.5	39.6	16.7	5.2	78.1	地域の行事・活動に参加していますか。							
保護者	18	24.7	54.0	19.2	2.0	78.8	お子様には、運動の場面でつらくても頑張ろうとするなどの気力が育っていると思いますか。							
生徒		69.3	25.0	4.2	1.6	94.3	保健体育や部活動を通して、つらくても頑張ろうという気力が付いてきていますか。							
保護者	19	14.6	55.1	26.8	3.5	69.7	お子様は、規則正しい生活をし、十分な睡眠時間を確保していると思いますか。							
生徒		37.5	46.4	12.5	3.1	83.9	規則正しい生活を心がけ、十分な睡眠時間を確保することができますか。							
保護者	20	11.1	63.1	23.2	2.5	74.2	電子メディア(TV含む)の時間、利用の仕方などについて、家庭内でルールを決めていますか。							
保護者	21	23.7	34.3	30.8	11.1	58.1	お子様は、好き嫌いなく、何でも食べていますか。							
生徒		72.4	17.7	7.8	2.1	90.1	給食では、好き嫌いせず2/3以上は食べていますか。							
保護者	22	36.4	43.4	17.2	2.5	79.8	お子様は、食後に歯磨きをする習慣が身に付いていると思いますか。							

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果から ②

今回は、質問紙調査から見える板中生の傾向について、お知らせします。

<板中生のよさにつながっているところ>

- 「朝食をほぼ毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」の肯定的評価が全国平均をやや上回っています。基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多いことがわかります。
- 「自分でやると決めたことはやり遂げる」、「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」「自分にはよいところがある」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」「人の役に立つ人間になりたい」「学校に行くのは楽しい」の肯定的評価が全国平均を上回っています。自己肯定感や自己有用感をもち、周りの仲間を大切にしながら学校生活を送っている生徒が多い様子がうかがえます。
- 話し合いや発表等に関わる項目の肯定的評価が全国平均を上回っています。授業における学び合いや課題解決型学習等を通して、自分の考えをまとめて伝えたり仲間の考えから学んだりする活動に、進んで取り組んでいる様子がうかがえます。

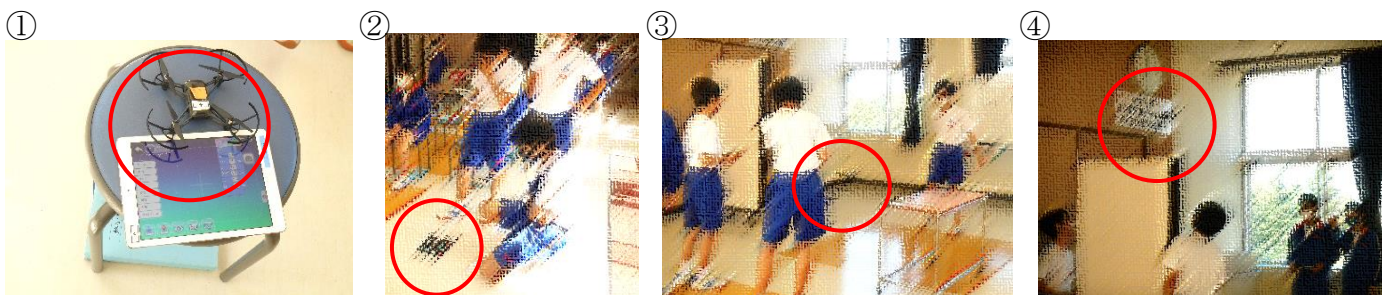
<課題として、改善に向けた取組が必要なところ>

- 「携帯電話等を持っているが、家の人との約束はない」、「平日に3時間(以上)ゲームをしている」と答えた生徒の割合が全国平均を上回っています。メディア接触時間を自分でコントロールする姿勢を身に付けることが課題です。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強している」は全国平均を上回っていますが、「平日に2時間以上勉強している」「休日に3時間以上勉強している」と答えた生徒が全国平均を下回っています。家庭学習をしていないわけではありませんが、1人である程度の時間学習することに困難を感じている生徒が一定数いることが考えられます。学習方法や学習内容について、個に応じた指導が必要であることがわかります。

以上の内容は学校運営協議会でも共有しました。特に課題について、指導の工夫を図りながら取り組んでいきます。

## ドローンのプログラミングに挑戦しました！

8月末から9月にかけて、上越教育大学大学院の院生の皆さんと一緒に、技術・家庭科(技術分野)の授業で1,3年生がドローンのプログラミングに挑戦しました。1年生では、学習のまとめとして、「被災地に必要な物品を届けるために、ドローンを、いろいろな障害物を避けて目的地に到着させる」というミッションに、グループごとに挑戦しました。授業の様子を紹介します。



①ドローンの動きを設定 → ②スタート →③障害物を乗り越え →④順調に飛行し……

「目的地にばっちり着地！」となったグループはなかなか出ず、生徒たちはその都度グループで集まり、院生の皆さんからアドバイスをいただきながらプログラムを修正し、何度も挑戦していました。

災害時の被害状況の確認や要救護者の搜索等で活躍しているドローン。プログラミングの楽しさとともに、その重要性を感じることでできる学習活動となりました。

10月からは2年生を対象に、引き続き院生の皆さんとともに授業づくりを進めていきます。

※来月号では、「道徳」の授業づくりを紹介します。